



## 2024年9月21日の国際平和デーに際しての世界エスペラント協会からのメッセージ

2024年は、平和の文化に関する国連の宣言と行動計画の25周年です。その中で、平和には「対話が促進され、相互理解と協力の精神で紛争が解決される、積極的で活発な参加への展開が必要です」と書かれています。協力は相互理解から生まれます。相互理解がなければ、つまり、耳を傾け、提案し、許容し、共通の道を見つける能力がなければ、前進することはできません。

人間の言語は相互理解の核心となります。言語はコミュニケーションのためだけでなく、共通の価値観や原則を築き上げるためにも重要です。平和を達成するには、各々の言語を身に着けている各々の人々の参加が必要です。世界人権宣言は、特に、話されている言語による差別を非難しています。これは、各々の言語とその話者を平等に尊重し、特別な状況では、さまざまな共通言語を使用し、平等の精神で異なる言語間に架け橋を築くことを意味します。

世界の人々の間の連帯、理解、尊重を発展させることを目的として、国際語エスペラントを広める組織として、世界エスペラント協会は、言語的人権の促進が平和への道であることを再び主張します。8月にタンザニアのアルーシャで開催された第109回世界エスペラント大会で再び示されたように、UEAは自らの活動において、共通言語を通じた共通の土台を積極的に模索しています。65カ国から集まった1,000人ほどのエスペラント（語）話者が、「より良い世界のための言語、人間、環境」というテーマについて、平和の精神を持って話し合いました。

9月26日の今年の欧州言語デーのテーマは「平和のための言語」であることを指摘しておきたいと思います。UEAはその対話に参加します。ユネスコが正式に提携している他のNGOとともに、私たちは「ダンスと平和を一緒に」プロジェクトにも参加します。これは、国際、国家、地方レベルでのエスペラント運動のたくさんの平和推進プロジェクトの1つにすぎません。

国連総会は、2025年を平和と信頼の国際年と宣言しました。UEAは、全面的に、そして熱意をもって参加します：平和と信頼は、来年の世界エスペラント会議の主要テーマでもあります。私たちの世界は、平和を必要としていますが、その平和は理解と信頼によってのみ実現します。戦争、飢餓、パンデミックやその他の課題に直面している今の時代、私たちは、団結して平和を求め、言語の平等の精神に基づいて平和な世界を構築しましょう。